

敦賀市・子ども医療費助成

中学3年生まで拡大

14年秋予定

敦賀市は12日、小学6年生までを対象にして、子ども医療費助成を中学3年生まで拡大する方針を明らかにした。2014年に条例改正を行い、同年10月ごろのスタートを目指す。同日の敦賀市会一般質問で山本貴美子議員（共産）の質問に河瀬一治市長が答えた。

敦賀市は12日、小学6年生までを対象にして、子ども医療費助成を中学3年生まで拡大する方針を明らかにした。2014年に条例改正を行い、同年10月ごろのスタートを目指す。同日の敦賀市会一般質問で山本貴美子議員（共産）の質問に河瀬一治市長が答えた。

助成している。そのうち5市町は所得制限を設けており、非課税世帯を対象としている。敦賀市の助成制度は、1医療機関につき1カ月で通院時500円、入院時4千円の自己負担で診療を受けることができ、各医療機関の窓口で医療費を支払い、2カ月後に自己負担分を除いた金額が返金される。2011年度の助成実績は約1億5900万円で、市の試算によると、中学3年生までの拡大で1500万円程度の増額を見込んでいる。

同市によると、敦賀、坂井市を除く15市町が、中学3年生まで医療費を

助成している。そのうち5市町は所得制限を設けており、非課税世帯を対象としている。

河瀬市長は答弁で「安心して子育てする環境整備が必要」と拡充する理由を説明した。条例改正の準備や保護者への周知期間などで、実施まで2年程度を見込んでいるが、土屋尚樹・福祉保健担当理事は「できるだけ早く実施できるよう進めたい」と答えた。